

いなみ野の風

特定医療法人社団仙齡会いなみ野病院
 住 所 加古川市平岡町土山423-2
 TEL 078-941-1730
 FAX 078-941-1734

ホームページアドレス <http://inamino-hp.senreikai.org>
 メールアドレス inamino@senreikai.org

いなみ野病院 院内・院外広報誌

編集：いなみ野病院 IM広報委員会

「第3回 いなみ野病院祭」を開催しました

平成30年5月19日(土) 13:00~16:00

「第3回いなみ野病院祭」を開催致しました。

今年度より、庭園のバラの花が咲く時期に合わせての実施とし、昨年同様、病院長講演会、各種体験、相談コーナーなどを設置。地域の方々、ご家族様を中心に、合計127名の方に来院いただきました。主なブースの内容を写真と共にご紹介します。



おしゃべりカフェ

玄関付近にカフェスペースを設置し、来場者の皆様に飲み物・軽食を提供し、職員と気軽に会話を楽しんでいただきました。いなみ野病院祭恒例の催しとなっております。

特定医療法人社団仙齡会 いなみ野病院

基本理念

当院は、患者さんを尊重し、患者さんから信頼される安全で質の高い医療を提供することによって、地域の高齢者医療の向上に努めていきます

基本方針

- 1) 時代の進歩に即応した質の高い安全な医療を提供するために、日々研鑽と努力を重ねます
- 2) 高齢化社会のニーズに応じ、患者さんと家族の納得する、医療・療養・介護サービスを行います
- 3) 認知症疾患の医療・介護の充実をはかり、地域の高齢者医療・福祉に貢献します



健康チェックコーナー

身長、体重、BMI、血圧、経皮的動脈血酸素飽和度、骨密度測定などを実施。約50名の参加がありました。自身の健康状態に関心をお持ちの方が多くが分かります。



各種展示

患者様が作業療法で製作された作品展示、オムツのサンプル展示を行いました。



各種相談コーナー

介護保険、お薬、リハビリ、健康相談コーナーを開設しました。



リハビリテーション (ロコモティブシンドロームテスト)

「立つ」、「歩く」という基本的な身体の状態を簡単に検査することで、要介護になるリスクを知っていただけます。また、6月に新装のリハビリテーション部門を見ていただく機会にもなりました。



ユニフォーム体験コーナー

来場のお子様には白衣を着用してもらい、バラ園で記念撮影を行いました。



食事相談、試食コーナー

補助栄養食品に加え、今年は減塩食の味噌汁、大根の煮物の試食も提供しました。色とりどりのサンプルが並ぶ展示で、多くの方に関心を寄せていただいたようです。



特浴体験コーナー

普段、患者様が利用されている寝たきりのままでも入浴介助が出来る「特殊浴槽」について、お湯のない状態で実演を行いました。具体的な入浴介助について、関心を持っていただくことが出来ました。

第3回「いなみ野病院祭」

日時 平成30年5月19日(土) 13:00~16:00
場所 いなみ野病院 飯吉山平岡町土山423-2

ご来場いただいた方に感謝申し上げます。

- 特別講演 「まよひの心」
- 講演：健康チェック（食事・体質） 山内海江、飯岡純和、山内純史、看護実践センター 藤原和雄
- オムツ展示
- 介護、福祉紹介、おしるべのカーネーション

● 動物 交際相談コーナー、動物相談コーナー
● 食糧 食料相談、減塩食の試食、補助食品サンプルの展示
● リハビリ ココモティフシンドロームのテスト、作品展示、リハビリ相談コーナー
● 地域連携 介護保険相談
● 記者撮影 写真展示

特定医療法人社団 仙酔会
いなみ野病院
〒675-0704 和歌山県平岡町土山423-2
TEL (078) 941-1730
ホームページ: <http://inamino-hp.senryukai.org>



2分間スピーチ

12月

本館2階 大澤 文字

12月に入り、今年も残すところあと1カ月になりました。

毎年この時期になると

「今年も1年過ぎるのが早かったな」と言っている私ですが、「年をとるほど1年が早く感じる現象」実は名前がついているそうです。「ジエネの法則」と呼ぶそうです。

この法則によると、人が感じる時間の長さは自分の年齢の逆数に比例すると言われています。簡単に言うと人生が長くなればなるほど心理的に1年が早く感じるといふことです。

例えば50才の人にとって1年の長さは人生の50分の1であり、5才の人にとって1年の長さは5分の1に

なるそうです。つまり今年1年というのは「自分の年齢の1年」ということになります。

又、時間を長く感じたり短く感じたりする要因は他にあります。それは日々の充実感や新鮮さです。

子供の頃は知らない事が多く新しい経験や発見があり毎日が新鮮に感じます。

しかし、大人になると新鮮味のあるものに接する機会が少なく、又同じことを繰り返す頻度も多くなることで毎日が単調になりがちです。それによって時間の経過が早く感じるようになります。ですが、この単調で当たり前の毎日でも考え方や見る角度を少し変えることで、又積極的に新しい経験を積むことで日々の充実感を感じることができるようではないかと思えます。

毎年1年を振り返ったと

きに充実感や満足感をしっかりと実感できる、そんな生活を送っていただければいいなと思えます。



2月

南館1階 辻本 保奈美

私が介護の仕事を目指そうと思ったきっかけを話そうと思います。小さい頃から祖母のことや、近所のおや日曜日に、祖母が「散歩に行こうか」と、近所のお年寄りの家に一緒に行き、話をするのがとても楽しかったです。人見知りや緊張しやすく、話をするのが苦手な私ですが、お年寄りの方

が相手だと自分でも驚くくらい自分から声をかけて話をする事ができ、なにより「話をすることが楽しい」と思える時間でした。自分が楽しいと思えること、好きと思うことができる仕事、私が私にとっては介護なんだと思えました。

私がいなみ野病院に入職して、もうすぐ6年になります。1年目の頃はやはり人見知りをしてしまい、自分から声をかけることが全然出来ませんでした。

仕事を続けられるかなと、悩んだこともありまして。しかし、患者様から「ありがとう」や「頑張ってるね」と声をかけてもらう事もあり、その言葉がすごく嬉しく、頑張ろう！とすごく元気をもらいました。自分が元気をもらっているばかりでなく、なにか自分が出来る事がないかと考えた時に思いついたのが「笑顔」でした。自分が患者様と話をする時、ケアをする時はできるだけ笑顔で、なおかつ「患者様が笑顔になる、笑顔を引き出す

こと」を自分の中で1つの目標にしています。これからも仕事をする時は「笑顔」という言葉を常に忘れず、患者様に寄り添った介護ができるよう一生懸命頑張っていきたいと思えます。

4月

薬剤課 中川 幸子



私は以前、神戸の病院で働いていたことがありますが、

駅まで歩く帰り道の途中に、一瞬だけポータルタワーが見える場所があり、そのポータルタワーを見ることを日課にしていました。でも、しなければならぬ仕

事がたくさんあったり、思うように仕事が進まなくていっばい、いっばいになってしまったり、気になる事があってもやもやすることがあった日は、うっかり通り過ぎてしまうことがあります。私にとって帰り道のポトトタワーを見られるかどうかは、その日の心のゆとりのバロメーターでした。

仕事をしていて心にゆとりがない時は、患者さんやご家族の方、スタッフ等への対応もおろそかになりがちです。そういう時こそ、笑顔で、丁寧に対応することで、相手の笑顔や言葉で心が救われたり、物事がスムーズに進むようになったりして、心にゆとりを取り戻すことができるようになります。

忙しい業務の中で、常に心にゆとりを持つ事はとても難しいことだと思いますが、笑顔を忘れず、丁寧な対応を心がけて仕事をしたいと思います。



5月

リハビリ 福井 奈美

私には6才、4才、2才になる子供がいます。

今年から1年生になった長男にはしっかりしてほしいという思いから少し厳しく育ててきました。そんな長男が最近こちらからの問いかけに「もーわかっとな。はいはい。」と少し不機嫌そうな物言いをするこが増えたため違和感を覚え、反抗期だろうか？と思っているとそれは私の話し方のマネをしていたのです。

毎日仕事と家事と保育園の送り迎えをして時間と心に余裕がない自分が子供の

目に映っているのだと感じました。子供達には、「話をする前に、何かを言う前に相手の気持ちを考えなさい」と教えているのですが自分が手本になっておらず、私の言動が子供にとっては経験や知識になるのだと気づかされました。自分の心に余裕をもって子供達に接しようと考え、そればかりとなりました。それは仕事においても言えることだと感じました。

気持ちに余裕がないことで小さなミスを繰り返したり、考えが偏りがちになったり、患者様への対応もおろそかになりかねないと思います。自分の言動には責任を持ち相手の気持ちを考えることを意識して仕事に取り組んでいこうと思えます。



6月

本館1階 武川 寿美

接遇とは何か？というお話しをしたと思います。今更な事だとは思いますが、自分自身接遇とはどういう意味かはっきりと説明できません。色々調べると接遇の「接」とは人に近づく、「遇」とはもてなすという意味があるそうです。ですから接遇とはおもてなしの心を持って相手に接するという事です。

接遇のポイントとしてあいさつ・言葉使い・相手の話を聞く姿勢・お辞儀・身だしなみとあります。以上の事をふまえ笑顔でありさつをし、相手の目を見て話すことによってコミュニケーションが生まれ相手との間に信頼を得ることが出来ます。接遇というツールを使えば患者さんやご家族の不安を少しでも取り除く事が出来ます。

接遇としてわたしが仕事の中で気をつけている事、1つは笑顔を忘れずに接す

る事です。笑顔で話しかけたりあいさつをする事により相手も自然と笑顔になります。それともう1つは相手の目を見てゆっくり話しかける事です。そうすれば気持ちにもゆとりが生まれ相手の話しもゆとりと聞く事が出来ます。この2つは単純で当たり前な事なのですが、わたしが患者さんやご家族と接する中で守っていききたい事だと思っています。



いなみ野病院が生まれ変わります

今年の2月から実施していましたが「いなみ野病院 リハビリテーション工事」および「本館 外壁・屋根補修工事」がこの度無事に終了しました。

工事はリハビリテーション工事と外壁・屋根補修工事に分けて実施しました。

リハビリテーション工事は本館1階にありましたリハビリテーション室を本館3階北棟に移動させる工事で部屋も広くなり照明数も増え非常に明るくなりました。また、3階に移動したので眺望も良く4km先の海岸沿いにある工場の煙突まで見渡せる場所となりました。景色も良いので患者様やご家族が集まれる場所になれば良いと思います。

本館の外壁工事は老朽化した外壁や屋根を補修する工事で、外壁の色が従来の白色から肌色(ルノワールの肌色)に変わりました。とてもやわらかく優しい印象になったのではないのでしょうか。建築では肌色を使用するのは珍しいそうです。また、季節により朝晩など陽のあたり方、見る角度により印象は随分と変わるそうです。皆様にとってどの印象がよいのでしょうか。

今後は、本館1階病棟などを介護医療院へ転換する工事を計画しています。工事内容は介護医療院への基準である「レクリエーションルーム」を新設、「療養室のプライバシー確保」や「床面積8.0㎡/人以上」にするなどで患者様の療養環境が格段と良くなります。

平成30年10月頃から工事を予定しています。ご迷惑をお掛け致しますがご了承ください。



編集後記

今回の広報誌には5月に実施しました「病院祭」の記事を掲載しています。毎年5月20日前後に実施していますのでよろしくお願い致します。

病院の外壁を塗り直し「生まれ変わり」ました。皆様にとってどの時期・時間に見る印象がよいのでしょうか。

いなみ野病院 概要

診療科目	内科、リハビリテーション科
病床種別	療養病床 290床 (医療保険 2病棟 120床) (介護保険 3病棟 170床)

診療報酬上の施設基準

医療保険

- 療養病棟入院基本料1
- 療養病棟療養環境加算1
- 夜間看護加算認知症ケア加算2
- 病棟薬剤業務実施加算1
- 地域連携診療計画退院時指導(Ⅱ)
- 脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)
- 運動器リハビリテーション(Ⅰ)
- 入院時食事療養(Ⅰ)／生活療養
- 薬剤管理指導料
- 入退院支援加算2

介護保険

- 病院療養型 I型(療養機能強化型A)
- 夜間勤務条件基準 減算型
- 職員の欠員による減算の状況 なし
- ユニットケア体制 対応不可
- 療養環境基準 基準型(2病棟)・減算型(1病棟)
- 医師の配置基準 基準
- 栄養管理の評価 栄養ケア・マネジメント体制
- 身体拘束廃止取組の有無 あり
- 特定診療費項目 薬剤管理指導
- リハビリテーション提供体制
理学療法Ⅰ・作業療法・言語聴覚療法・その他